

日時

会場 妙法寺(恵那市岩村町九一一番地の二) 時から 一月二十九日

りは収まっていなかった。秋山夫妻以下五名を捕おつやの方は岩村城を開城した。しかし、信長のな道を続けれる、領民領地の安堵を条件に秋山虎繁度は岩村城を織田信忠が攻めに入った。数か月にた。その三年後、長篠の戦で武田勝頼が敗走し、た き込まれていった。一つの地にあった「岩村城」 ることにより領民領地の安堵を約束し岩村城に入 繁は知略を尽くし、

十三時三十分より

閉式銀会

紙芝居 法要

可惜夜HITOMI 女城主

限定御朱印・売店等ご用意ございます

秋山伯耆守虎繁・おつやの方夫妻と妙法寺

日蓮宗 桃萼山 妙法寺

岩村藩2代目藩主 丹羽氏定公の息女 多阿姫 は嫁ぎ先にて難産で苦しんでいた折、亮朝院日輝 上人の修法を受け無事出産しました。

氏定公夫妻は篤〈信心を興し、法華経守護の七面大明神を勧請し、1653年(承応2年)伊豆国玉沢妙法華寺17世円通院日亮上人を招き、妙法寺を創建した。当初の山号は経王山と称したが、氏定公の法号「興昌院殿桃雲宗萼大居士」から桃萼山と改称した。【妙法寺パンフレットより】

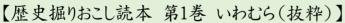




妙法寺境内左側に年代不詳の円形自然石供養碑がある。 表面に「**ま**(**5家**」(家は塚の異字)と刻んである。その旁らに 「秋山候一族源平家・文久二戌年奉祀」と刻んだ石柱も ある。

1575年(天正3年)織田信長により処刑された悲劇の城主 秋山虎繁夫婦らの怨霊を鎮めるため、大将陣を望む境内に、 大将陣の方に向けて、建立された供養塚と伝えられる。 後年、頭の病気に効ありと世人の信仰を得ている。 【妙法寺案内看板より】

岩村藩3代目藩主 丹羽氏純公は、藩主の弟や娘が若死にするなどの不幸が続くことがあった。そこで1575年(天正3年)に織田信長によって逆磔にされた秋山虎繁夫妻65人の霊を弔うために、大将陣の麓の妙法寺境内東側に五仏寺を創建した。丹羽氏転封と共に廃寺となった。





恵照山 五仏寺跡



1575年(天正3年)織田信忠は岩村城を攻めた際、本陣のあった丘を 大将陣という。約半年に及ぶ激甚を極めたこの戦で、織田軍は岩村城 の裏山の水晶山より攻撃し、遂に岩村城を落城させた。信忠は大将秋 山伯耆守を始め、修理夫人、及び大島、座光寺、下条等5人を捕らえ て、大将陣に於いて逆磔の刑に処した。修理夫人もその最後の時、信長 の惨忍を絶叫して、その終りの必ず良からぬことを予言しつつ死んだという。 この5人の遺骸を埋めたのが大将塚である。【岩村町史(抜粋)】

大将陣と大将塚

最近の研究により、秋山虎繁夫妻は長良川河畔にて磔にされたと判明したが、昭和36年編纂の「岩村町史」に於いても秋山虎繁夫妻は大将陣にて逆磔に処したとある。近年まで岩村町では大将陣逆磔説が信じられていた。丹羽氏純公が秋山夫妻の祟りを恐れ五仏寺を創建したなど、大将陣のすぐ麓にある妙法寺境内は秋山夫妻の霊を慰め、供養することに最も適した場所であったと考えられる。大将陣に向くように妙法寺境内に建立された供養塚「まくら冢」で今後も供養がされていくであろう。